

平成26年度 総合課程 官民交流Ⅱ研修を受講して

甲府市 企画部 地域政策室 まちづくり課 金子武仁

研修参加について

今回の研修の要旨として、官（国・地方）民が連携して取り組むべき課題として、「まちの賑わい・交流の創出」が示されており、人口減少という人口構成の変化や、行政の財政状況の悪化など、国や地方自治体の活力の喪失が危惧される状況下において、何か一つでも地方の活力創出に向けた道筋を見出したいとの思いで参加させていただきました。

研修内容について

「PPPとまちづくり」の基調講義においては、人口減少や高齢化において、地域の活力低下や遊休不動産、空地の増大が予想されている中で、地域コミュニティに再着眼して、まちづくり活動と遊休不動産の利活用をつなげることにより、地域活力の創出を図っていくという、正に一石二鳥の取り組みをご教示いただき、これまでの私の考えなど及ばない、今後のまちづくりを考えていくうえで必要不可欠な新たな発想を植えつけていただいたと感じています。

また、PPPによるまちづくりを実践している「ちよだプラットフォームスクウェア」の基調講義においては、実際に地域のニーズを掘り起こし、官民がしっかりと連携して取り組むことが成功の秘訣であるものの、課題は地域によって異なることから、自らの地域に落とし込んで考えたときに、その解の難解さを改めて感じたところであります。

更に、本市の課題であります「中心市街地の活性化」を研究題材として採り上げていただく中、若くて意欲のある国や県、民間企業の第一線で働く方々とのディスカッションは非常に刺激的であるとともに、普段話す機会のない国や大手民間企業の方々が、それぞれの得意分野を活かし、それぞれの立場から出していただいた意見を融合する過程を経験しつつ、本市中心市街地活性化を検討できたことは有意義であったと感じています。

今回、たまたま本市を題材に取り上げていただきましたが、様々な立場の方々が一堂に集まり、意見をまとめていくという過程は、自己・相互啓発の面からも誠に有効な取り組みであると感じました。

最後に、研修の助成をしていただいた山梨県技術センターの関係者の皆様、講義をしてくれた皆様、国土交通大学校の職員の皆様、研修に参加させてくれた職場関係者等に対し感謝の気持ちを忘れず、今回の研修で得た知識、情報をこれからの業務に活かしていきたいと思えます。